

中伊豆町筏場(いかだば)の神代杉(地学散歩(30))

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-07-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 和田, 秀樹, 北川, 浩之 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00025515

中伊豆町^{いかだ ぼ}筏場の神代杉

和田 秀 樹*・北 川 浩 之*

伊豆半島の代表的火山天城山。この山の北西の山麓には、5 万分の 1 の修善寺図幅でもはっきり舌状の地形がみられる。これがカワゴ平火砕流と言われる伊豆半島でも最も新しい火山活動によるものである。¹⁴C 年代測定によると 2830 ± 120 BP⁽¹⁾ および 3250 ± 70 BP⁽²⁾ という 2 つの年代が報告されている。デイサイト質の降下火山灰、パミスを含んだ大量の火砕流、溶岩の流出など大規模な活動であった。火砕流の末端に近い中伊豆町筏場では、神代杉と呼ばれる大木がこの火砕流の中に見つかり、第 2 次世界大戦前は、家具や建築用材として盛んに発掘された。また、杉以外にも松や樺の大木も含まれていたようで、その太さは、四間 (7.2 m) と七間 (10.8 m) とも言われている。実際こんな太い神代杉があったものかわからないが、かつて発掘作業に携わったことのある老人によると、神代杉の上で 10 人もの男衆が酒を飲んで大騒ぎをしたそうである。当時筏場あたりは、神代杉を掘る“親方”が数人おり、この親方のもとには、近くの村人や、炭坑にいたことのある穴掘りの名人などが働いており、年に 1 本から 2 本探しあてることができれば十分生活できたそうである。

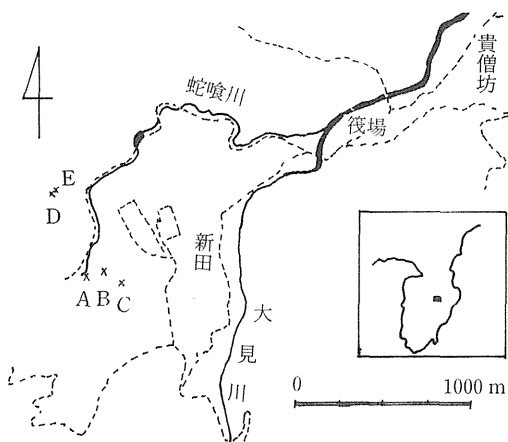
筏場の蛇喰川^{じやくい}と大見川に挟まれた山中には、当時、神代杉を探した坑道がいくつも残っている。カワゴ平火砕流の最下部には地元では玉ジャリと呼ぶ降下軽石層が数 10 cm あり、この層を目安に探鉱穴 (横穴) を掘り進むと、目指す神代杉の根元を探しあてられるという。発見された神代杉の真上の地表から切り出し用の堅穴が掘られ、三尺 (90 cm) 毎に切られた神代杉は、この堅穴から地上へ運び出されたという。現在いくつか残っている探鉱穴に入ってみると、放置された根の部分が残っていることもある。(写真 4)。写真は根の張り出そうとする部分での直径約 2.3 m、周囲約 7.2 m の杉である。四間、六間の杉というのは、幹の周囲の長さのことかも知れない。

昭和 57 年 7 月 30 日から 8 月 3 日にかけての台風 10 号は、筏場を流れる蛇喰川を増水させ、この火砕流の一角をえぐり取った。そのえぐり取られたあとから写真 1 の神代杉の上部 1 m 余りが顔を出しているのが見つかった。この神代杉は、幹の途中から折れ、幹の表皮が多少炭化し、変化している他は腐食もほとんどない状態であった。函南の木材会社は発掘許可を得て、河床から約 10 m 掘りさげ、

切り出した。杉の最も根元に近い所の直径が 2.1 m、樹齢は正確に年輪が数えられていないが、500 年以上はある。この神代杉の根に近い部分は発掘の際地下水の突出があり周囲の地層が崩壊する危険があるため、掘り出さず再び埋められたそうである。この神代杉は、木目が美しいため紙の様に薄く削られ、天井板用の化粧合板として商品化されている。

(1) 遠藤邦彦 (1965) ニューサイエンス社

(2) 葉室和親 (1977) 火山 22 巻 277—278



*静岡大学理学部地球科学教室



写真1 筏場公会堂に展示されている神代杉輪切の標本。これと同じような標本が中伊豆町公民館にも展示されている。昭和57年8月の台風10号のあと発見された。(地点A)

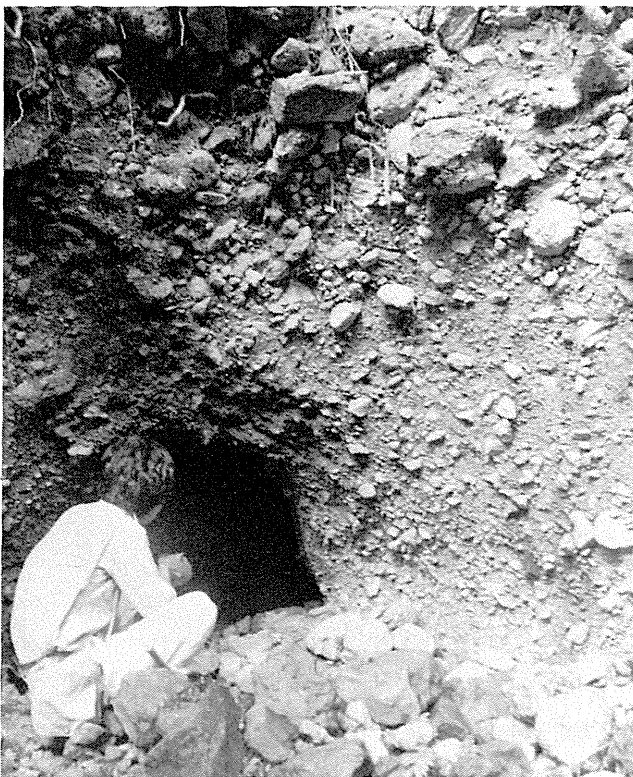


写真2 戦前探鉱のために掘られた横穴、この穴は小さく這わないと入れないが奥では人がたつことができる。20m程で行き止まっており、神代杉は発見できなかった様だ。(地点C)



写真3 蛇喰川河床に顔を出している神代杉の根 (地点B)

(写真提供；静岡新聞・小池正樹氏)

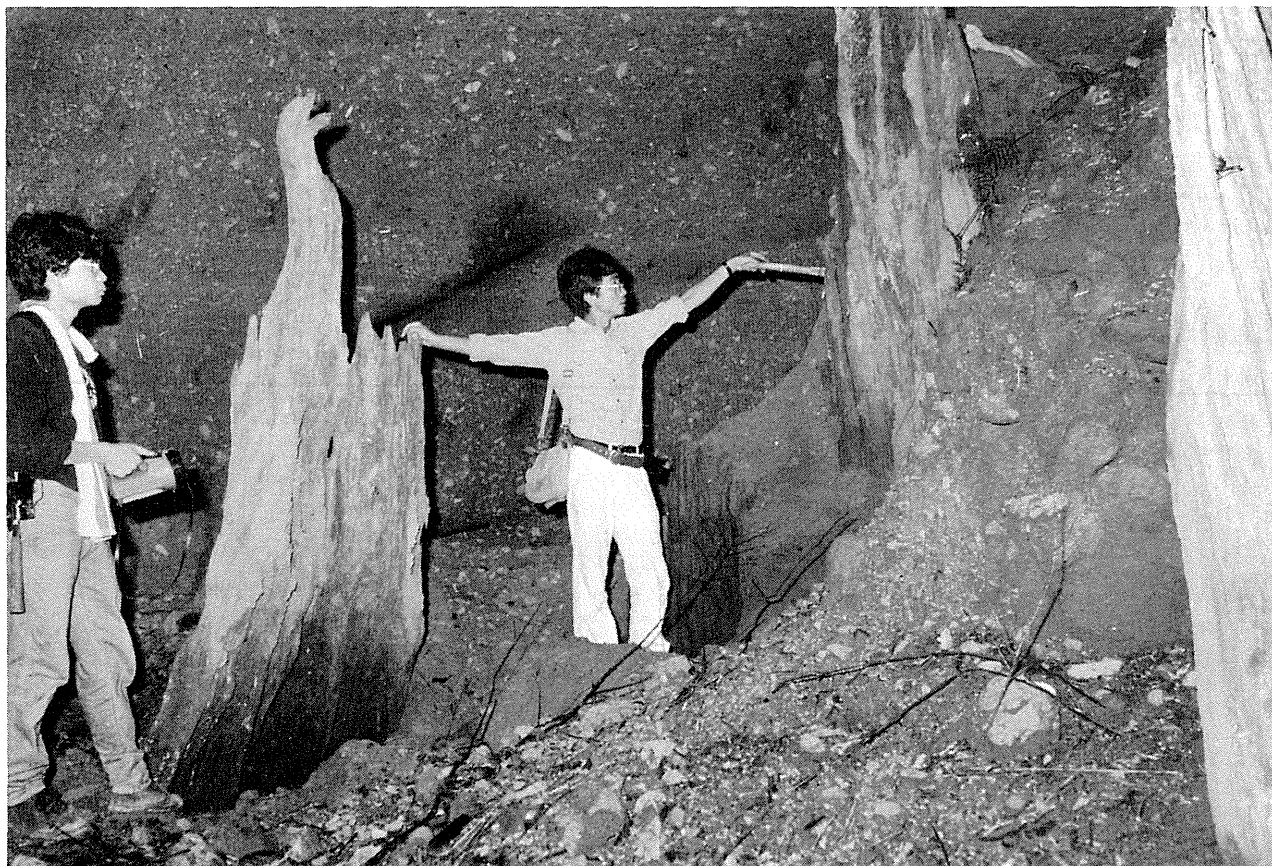


写真4 探鉱用横穴の最奥で発見された神代杉の根に近い部分、根の中心部分はなく中空に突き出ている3本は朽ちかけた1本の幹である。この神代杉の直径は約2.3mあった。樹令1000年くらいだろうか。(地点D)

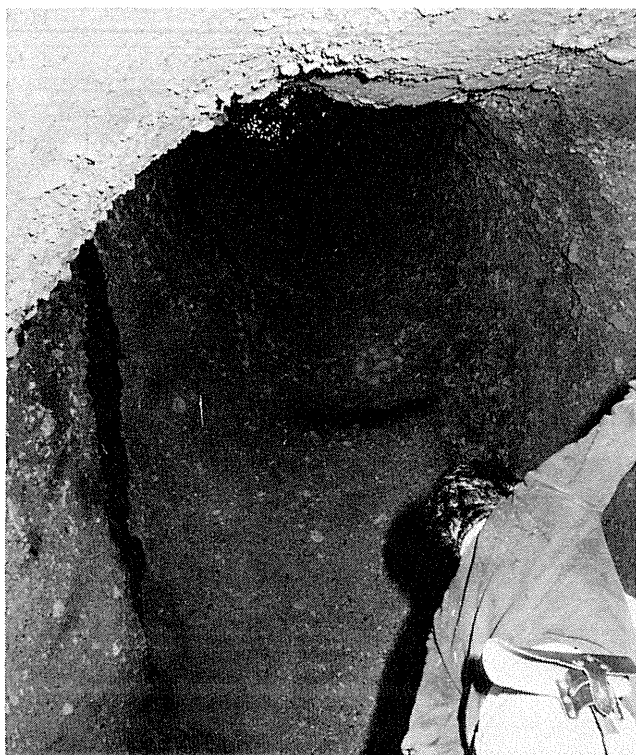


写真5 写真4の神代杉を切り出した堅穴、地表まで20mくらいあり地表は鬱蒼とした樹木で塞がれ、枝葉の間から空が僅かにのぞかれる。(地点D)



写真6 地点の横穴入口の火砕流壁に発見される直径1mほどの炭化した神代杉、杉の中心部は空になっていてパミスが詰まっている。外側部分は、完全に炭化していて、温度の高かったことがうかがえる。(地点E)